
幽々子の食いしん坊万歳＼(^o^)／！

けい

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

幽々子の食いしん坊万歳＼（^○^）／！

【Zマーク】

Z82230

【作者名】

けい

【あらすじ】

幽々子がグルメ番組を始めたようです。

(前書き)

東方 project の一次創作です。

妖怪の山を越えて、更に進んだ先に中有の道がある。三途の川に隣接しているとは思えない、なかなかに賑やかしい場所だ。

色とりどりの屋台が並ぶ中で、香ばしく匂いに誘われた先にその店はあった。

『焼き鳥屋・藤原』

『めんべださこ

「こいひしゃい！」

歴史を感じさせる暖簾をくぐりてみれば、威勢のいい声で女将、藤原妹紅さんが迎えてくれる。

この店の特徴は、ガスでも炭でもなく、自らの能力によつて肉を焼き上げること。文字通り命を燃やして作り出す一串一串は、幻想郷の食通をもうならせるほどの味。

「今日も暑かつたね。とつあえず冷酒でいいかい？」

「じゃあ一杯お願ひします

」つ見えて千年以上生きているだけあって、フランクな中にも不快感を与えない接客が常連を生み出す秘訣なのだろう。

「何を差し上げよつか？今日は新鮮なほんじりが入ってるよ

女将さんのおすすめはなんでしょうか？

杯を傾けながら世間話もいにものだが、やはり「これはおすすめを頂きたい。」

「はいよ。ひょっと待つててね」

手際よく調理にとりかかる様子は、舌だけでなく耳でも。楽しめてくれる

「牛丼つゆだくお待つぞりさんー！」

「ご飯と肉に絡む特製の甘辛だれがなんとも食欲をそそる一品。みなさんも是非一度ご賞味あれ。」

様々な客層にうけがいいのは、女将さんの人柄の良さなのだから。

今日も藤原では笑い声が絶えない。

幽々子の食いしん坊万歳ヽ(^o^)ヽ！次回は八つ田鰻の店、『鰻処みすぢ一屋』を紹介します。

いや、焼き鳥食わせよう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8223o/>

幽々子の食いしん坊万歳＼(^o^)／！

2010年11月10日02時04分発行